

# 国労水戸

国労水戸地方本部  
 水戸市中央1-1-11  
 ENYビル2F  
 029-221-4008  
 発行責任者 大和田亨  
 編集責任者 坂本公則

## 大和田委員長が抱負語る



地方本部は1月12日、2013年旗開きを開催し県内外の地域労組・政党など約90名が参加しました。旗開きで大和田委員長は、3年半続いた民主党政権が崩壊し自民政権と変わったが、改めて衆議院小選挙区比例代表並立制の弊害を指摘し、改めて選挙制度の改善が必要としました。

JR東日本会社は、新たな経営構想を公表し、全分野で委託化を強固に押し進めようとしています。我々は安全・安定輸送確立に向け、引き続き全ての業務部門における総点検運動を更に進め、改善を求め取り組みを強化して行く事としました。

最後に、組織の強化・拡大に触れ、国労本部は次期全国大会までに1,000名の組織拡大行動を提起し全国オルグを展開していきます。地方本部も全国の取り組みに学び、参加した組合員へ抱負と決意を述べ年頭の挨拶としました。

# 反転攻勢を強める年



## お互いに奮闘しよう

2013年国労水戸旗開きは水戸市内で行われ、多くの組合員が出席し決意を新たにす中で交流を深めました。旗開きは、退職者組合の関事務局長が乾杯の発声を行い、政党・地域労組代表がそれぞれ挨拶し、多くの関係者からは、年末の総選挙に触れながら、夏の参議院選挙について抱負を語りました。

また、恒例のお楽しみ抽選会も行われ、抽選に当たった人からは、大きな歓声があがり旗開きを盛り上げました。各テーブルで交流を図る組合員からは、組織拡大は我々にとって最重要課題だ。高齢で退職者も多い。本部からも問題提起がされている。もっと多くの組合員を結集し成果を出して行きたい。機関運動を見直し粘り強く闘うことで、新たな道が開けると確信していると語りました。

## 新春学習会

地方本部新春労働講座は1月12日、東本部松井書記長を招き、分会代表者会議と合同学習会を開催しました。労働講座で松井書記長は次の様に報告しました。

2013年は、私たち働く者にとって混沌と厳しさを増す時代の新たなスタートとなることは必至の状況です。歴史的政権からわずか3年3ヶ月で民主党政権は崩壊し、国民に「優しくない」自公政権が復活しました。新自由主義で「構造改革路線」は、勤労国民を窮地に追い込み、ワーキングプアと称される非正規労働を世に蔓延させました。

こうした政治に怒りを込めてノーの審判を下し政権交代を創りだしました。「コンクリートから人へ」の政治を目指したが、沖縄普天間基地移転問題、原発事故や放射能汚染への対応、TPP参加問題、消費税増税問題など国民の期待を大きく裏切る結果をもたらり、昨年末の総選挙で大敗北しました。

こうした中で私たち国労にとつての課題は、JR会社の動向、とりわけ昨年10月に示された「グループ経営構想V」(限りなき前進)を基にした経営戦略をしっかりと見極めること、他労組を含め

た労務政策を見極める事が重要となっています。情勢を的確につかむ「グループ経営構想が目指すもの」「JR東日本ステーションサービス」発足に何を見るか、国労の組織強化から組織拡大へ、労働条件に関する協約締結と今後の取り組みなどを提起しました。

最後に今後の取り組みとして、労働条件改善には労働協約改訂の取り組みが必要不可欠です。拡大委員会(2月8日・仙台地区)以降、要求確立と交渉設定までの取り組みを提起し全組合員への奮闘をお願いいたします。